

県南地方の農林業



平成28年10月

清らかな源流を生かし、次代につなぐ県南の農林業



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



1 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は、1,233.24km²(西白河地方612.30km²、東白川地方620.94km²)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方を東に向かって流れる阿武隈川と東白川地方を南に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。また、源流域であるため標高も比較的高く、白河合同庁舎では363mあります。

(2) 気候

昭和55年～平成27年の期間における県南地方の気候は、年平均降水量が白河気象台の観測では1,412mm、東白川観測所でも1,397mmとなっており、福島気象台の1,171.2mm、会津若松測候所の1,212.9mmと比べて降水量の多い地域となっています。

また、年平均気温は白河気象台、東白川測候所でも11.6℃、福島気象台の13℃より低く、若松測候所11.7℃と同程度の気温となっています。

(3) 人口

管内の人口は、平成28年9月1日現在(平成28年9月23日公表)、143,084人(50,856世帯)で、県人口の7.5%(世帯数で6.8%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が110,716人、東白川地方で32,368人となっています。

また、昨年平成27年9月1日現在と比較すると1,589人の減で、減少率は1.1%となっており、県の減少率1.3%とほぼ同じ率となっています。

※福島県:福島県の推計人口



2 東日本大震災の被災及び復旧の概要

(1) 地震の概要

平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。
市町村別最大震度は、白河市で県内最大規模の震度6強、西郷村・中島村・矢吹町・棚倉町で震度6弱、泉崎村・矢祭町で震度5強、埴町・鮫川村で震度5弱が観測されました。

(2) 被害の概要

本地震により発生した津波や建物倒壊等により県内の死者・行方不明者は3,912名、住宅の全半壊は94,215棟と甚大な被害を受けました。

うち、県南地方においては、白河市葉ノ木平地区で発生した地滑りをはじめ、地震による土砂崩れ等によって死者17名、住宅の全半壊4,799棟の被害が発生しました。また、各種ライフラインや農林業施設へも多大な被害が発生し、白河矢吹地区では全長約18kmの幹線用水路のうち約3kmが被災し、約2,800haの農地で営農に支障が生じましたが、平成24年5月に災害復旧工事が完了し、農業用水が確保されています。

(3) 施設の復旧状況

農林業関連の災害復旧状況は、平成27年度までに農地・農業用施設・集落排水施設で653箇所、治山・林道施設で40箇所の災害復旧工事を完了しています。

(4) 農林地除染の実施状況

白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、鮫川村の7市町村において除染を実施している他、管内全市町村において、カリ肥料の施用等による放射性物質の吸収抑制対策を進めました。矢祭町では、米の全量全袋検査で平成26年産米、27年産米の放射性物質が未検出であり、更に、カリ施肥を終了する効果検証においても未検出となったことから、水稻の吸収抑制対策が終了しました。

(5) 放射性物質モニタリング検査

平成27年度は合計1,763点(農林水産物食用1,492点、飼料作物等食用外271点)の検査を実施し、基準値を超えたものはありませんでした。

(6) 米の全量全袋検査

平成27年産米については、28カ所の検査場で32台の検査機器により約147万袋の検査を実施し、基準値を超えたものはありませんでした。

3 その他の災害と復旧状況

平成28年1月18日未明から降った降雪により、県南地方全市町村の農業関係施設(パイプハウス)300件とスナップエンドウ、レタス、果樹樹体被害(モモ、ブルーベリー)など農作物0.23haの被害が発生しました。平成28年2月に創設された「平成28年1月18日からの雪害に対する農業等災害特別対策補助事業」の活用等により早期復旧を努めた結果、平成28年5月末に300件の復旧を完了しました。

※農業振興普及部調べ

4 農業・農村・森林林業の概況

(1) 就業構造

就業者総数(15歳以上)は72,526人で、第1次産業の割合は9.5%となっています。

また、第1次産業就業者の内訳は、農業が94.2%、林業が5.5%、漁業が0.35%を占めています。

※平成22年度国勢調査 人口等基本集計結果

(2) 農林業経営体

総農家数は9,463戸で県全体の約9.8%を占め、うち、販売農家が7,556戸(対県比10.7%)、自給的農家が1,907戸(対県比7.3%)となっています。

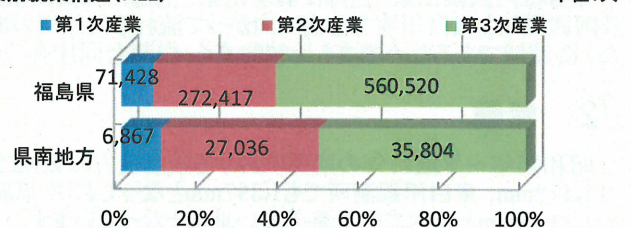
販売農家のうち、農産物販売金額が100万円以上の農家の割合は45%(県全体42%)で、特に、西白河地方は58%と大きな割合を占めています。また、販売金額が500万円以上の農家の割合は、県全体の10%に対し、中島村22%、矢吹町23%と高い割合となっています。

また、林家数は4,641戸で、県全体の10.9%を占めています

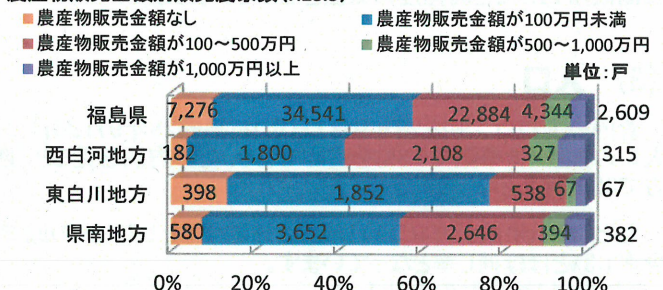
※第62次東北農林水産統計年報

※平成27年 福島県森林・林業統計書

産業別就業構造(H22)



農産物販売金額別販売農家数(H28.3)



(3) 耕地面積・森林面積

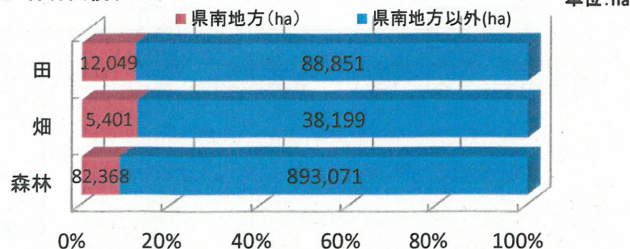
耕地面積は、17,443ha(田12,049ha、畑5,401ha)で、県全体の12.1%(田11.9%、畑12.4%)を占めています。

また、森林面積は82,368haで、県全体の8.4%を占めており、総土地面積に占める森林の割合は、県平均70.8%に対し、西白河地方は54.9%、東白川地方は78.6%となっています。

※第62次東北農林水産統計年報

※平成27年 福島県森林・林業統計書

耕地・森林面積(H27)



(4) 農産物の生産状況

県全体に占める割合は、平成27年度米の収穫量は14%、主な野菜はJA全農福島取扱出荷量でトマト(大玉)34.0%、きゅうり9.0%、ブロッコリー88.0%となっています。

※農林水産省作物統計(水稲)

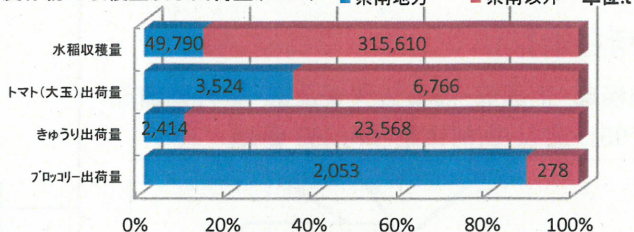
※JA全農福島出荷取扱(トマト、きゅうり、ブロッコリー)

家畜の飼養頭数は、乳用牛が3,095頭、肉用牛が8,808頭、豚が52,258頭となっており、県全体に占める割合は乳用牛25%、肉用牛17%、豚40%となっています。

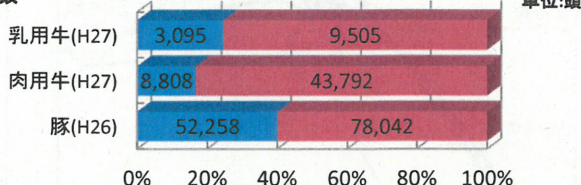
※県南家畜保健衛生所調べ

※第62次東北農林水産統計年報

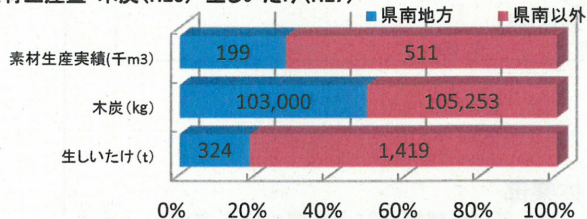
農作物の収穫量及び出荷量(H27)



飼養頭数



素材生産量・木炭(H26)・生しいたけ(H27)



素材生産量・木炭・生しいたけの生産量は、平成26年度で素材生産量が199千m3、木炭が103t、生しいたけは、平成27年度で324tと震災前と比べ大幅に減少しており、県全体に占める割合は、素材生産量28%、木炭50%、生しいたけ19%となっています。

※平成27年 福島県森林・林業統計書

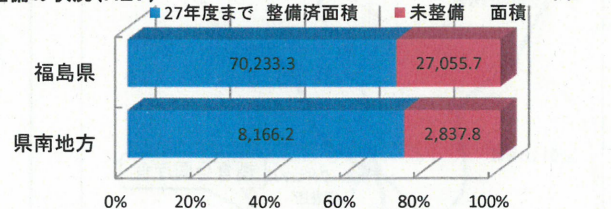
(素材生産量、木炭、生しいたけ)

(5) ほ場整備の状況

平成27年度末までの水田整備面積は8,166.2ha、整備率は74.2%となっており、県全体の整備率71.9%を若干上回っています。

※農村基盤整備課、農村整備部調べ

ほ場整備の状況(H27)



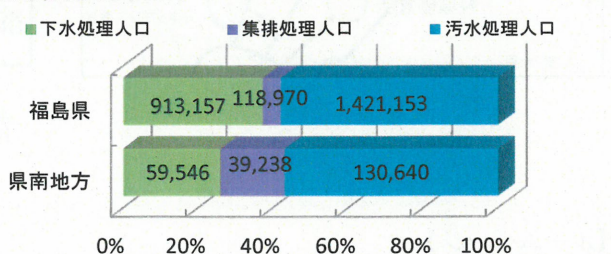
(6) 農業集落排水処理施設の整備状況

平成27年度末の公共下水等を含めた県南地方の污水処理人口普及率は89%(うち、農業集落排水施設人口普及率26.7%)となっており、福島県平均の80%(うち、農業集落排水人口普及率7%)を大きく上回っています。

※第130回福島県統計年鑑「2016」

※農村基盤整備課、農村整備部調べ

污水処理普及人口(H27)



(7) 林道の整備・保安林の指定状況

平成26年度末の林道延長は381,489mで、林道密度は7.60m/haとなっており、県平均の林道密度7.20m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.82m/haと県内でも非常に高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

水源を守り、安全・安心な暮らしの確保のため計画的な保安林の指定を進めており、平成26年度の保安林面積は4,590haであり、計画的な治山事業を実施し保安林の機能を強化しております。

※福島県林道事業統計書(平成26年度実績)

※平成27年 福島県森林・林業統計書

県南農林事務所組織体制図

所長

電話:0248-23-1570 電話:0248-23-1571

次長

総務部

電話:0248-23-1572
FAX:0248-23-1590

総務課

庶務・経理

企画部

電話:0248-23-1577
FAX:0248-23-1590

地域農林企画課

農林業振興の企画・調整、管内農林業の情報提供、地域産業の6次化推進、地産地消、食育の推進、グリーン・ツーリズムの推進

指導調整課

農業団体の指導検査、農地転用・農振除外等の許認可、食品表示法に基づく食品表示

農業振興普及部

電話:0248-23-1561
FAX:0248-23-1559

農業振興課

農業経営基盤強化促進対策、農用地流動・農地利用集積等、農業構造の改善、農業振興・奨励、米の生産調整の推進

地域農業推進課

集落営農の推進、中山間地域農業の推進、農業金融、普及指導計画の進行管理

経営支援課

農業担い手の育成、地域特性を生かした作物の産地化、環境と共生する農業の支援、園芸産地の振興

農村整備部

電話:0248-23-1581
FAX:0248-23-1590

農地計画課

土地改良事業の法手続、土地改良財産の管理及び処分、換地業務、調査計画、国土調査、用地取得

農村整備課

かんがい排水・ため池等整備、経営体育成基盤整備、農業集落排水整備、農道整備、災害復旧、地すべり対策

※棚倉合同庁舎内

森林林業部

電話:0247-33-2121(代)
FAX:0247-33-6949

林業課

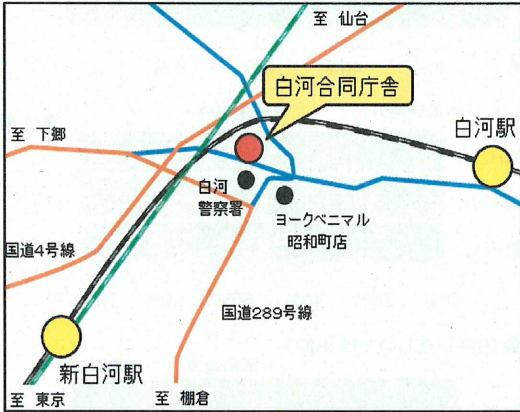
林業技術の普及、林業団体の強化育成、林業後継者育成、緑化の啓発、森林病虫害の防除、山火事防止、きのこの生産振興

森林土木課

山地災害の防止と復旧、保安林等の保全、森林の開発規制、林道整備

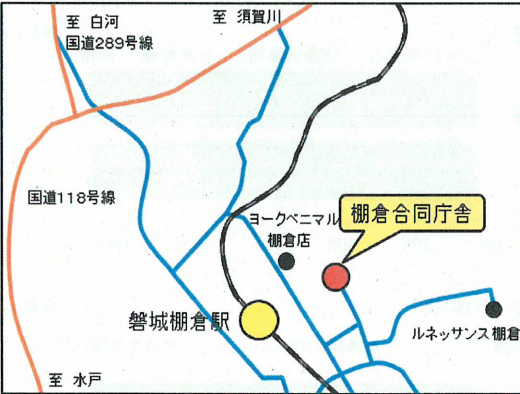
【所在地】

総務部・企画部・農業振興普及部・農村整備部
〒961-0971 白河市昭和町269番地



森林林業部

〒963-6123 東白川郡棚倉町大字関口上志宝50-1番地



【ホームページ】

「**県南農林**」で検索してください。

【メールアドレス】

kennan.nourin@pref.fukushima.lg.jp

【編集発行】

福島県県南農林事務所
企画部 地域農林企画課
電話:0248-23-1577 FAX:0248-23-1590
〒961-0971
福島県白河市昭和町269番地

【表紙写真】

